

女性部友の会 ヨガ体験

12月7日、女性部友の会が幕別温泉パークホテル悠湯館にて講師を招いての「ヨガ体験」を行いました。

日常生活の中で生じた身体のゆがみを解消する効果があるヨガで、1年の疲れを取ろうと企画されました。足のツボを押す事から始まった講習は、「少しやっただけなのにすごく身体が軽くなった。」と、皆さん驚きの表情を隠せませんでした。機会があれば是非またやってみたいと、皆さん話していました。



青年部 管外視察研修

12月9日～10日にかけて青年部による管外視察研修が千歳・札幌・恵庭方面で開催されました。

1日目はカルビー千歳工場の工場見学を行いました。ポテトチップスの製造工程を約1時間かけて学びました。ポテトチップスに使われるジャガイモの品種や原料の保管の説明を受け、選別・スライス・味付け等の工程を経て出荷されるまでを見学し、馴染みのあるカルビー商品を深くまで知ることが出来たと、皆さん満足の様子でした。



2日目は恵庭にある(株)コーンズ・エージー本社へ行きました。コーンズ・エージーで

はトラクター、農業機械、給餌関連機械、搾乳・飼養管理等の機械を取り扱っています。今回は主にトラクター・ランボルギーニのモデルを試乗見学し、乗り心地の良さと性能の高さを知る事が出来ました。

2日に渡る管外視察研修は学ぶ事が多く、充実した研修だったと皆さん満足の様子でした。



銀鈴会 冬期研修

12月15日～16日の日程で銀鈴会冬期研修が幕別温泉パークホテル悠湯館で行われました。内容は「ふまねっと運動」「折り紙を使った頭の体操」といったもので、銀鈴会会員13名が参加しました。

今回取り入れられた「ふまねっと運動」は、50センチ四方のマス目で出来た大きな網を床に敷き、踏まないように歩く運動で、全身のバランス感覚を改善するトレーニングとしてだけでなく、レクリエーションとしても楽しむ事ができ、皆さん率先して取り組んでいました。



また、「折り紙を使った頭の体操」では連鶴を折りました。2羽の鶴が重なるように並ぶ折り方に皆さん苦戦していましたが、皆さんで協力して教え合いながら見事に完成させることが出来ました。

夜には総会・懇親会が行われ、27年度の活動内容を振り返るとともに、来年度の事業についても話し合われました。その後は懇親会に移り、会長の音頭で乾杯し、会員同士の交流を深め、充実した冬期研修となりました。



青年部 スポーツクライミング体験

12月21日、依田にあるスポーツクライミングジム十勝にて、平成27年度忘年会を兼ねた青年部スポーツ交流会が行われ、「スポーツクライミング」を体験しました。

スポーツクライミングとは、人工の岩に手足を掛けて壁を登るスポーツで、岩の横に貼ら

れたテープによって難易度が異なります。皆さん、自分に合った難易度を登るうちに、更に高難易度に挑戦する姿もみられました。全身運動であると同時に集中力も使う為、皆さん終わった後の疲労感・爽快感・達成感を得る事ができ、スポーツクライミングの魅力を満喫することが出来ました。



さくらんぼの会 年賀状作り

12月21日、農協2階会議室にてさくらんぼの会による年賀状作りが行われました。毎年、組合員家庭で80歳以上の方に手作り年賀状を出しており、今年は「押し花」で年賀状を作りました。1枚1枚丁寧に花を並べる作業は根気のいる作業で、皆さん手元に集中していました。

完成した年賀状はどれも色鮮やかで素敵なものが出来上がりました。



麦採種組合視察研修 東海・北陸方面

1月18日から4日間の日程で、麦採種組合の視察研修旅行が東海・北陸方面にて開催されました。今回の研修で1番の目的は、愛知県名古屋市に本社を置く敷島製パン株式会社の視察であり、本社よりバスで1時間程の距離に位置する刈谷工場を訪問して参りました。パン製造ラインの見学や意見交換会等、貴重な研修となりましたので報告致します。



敷島製パン株式会社は創立1920年、国内に15工場と40事業所を構え、パン・和洋菓子の製造・販売事業を展開しており、原料として国産小麦を積極的に使用している企業です。(大半が「ゆめちから」ですが「きたほなみ」などもブレンドして使われているようです。)商品は全て「Pascoco」というブランド名で販売されておりますが、原則北海道と九州地方には販売拠点が置かれていない為、商品を目にする機会が少ないかと思えます。主な商品としては、パン市場No. 1のシェアを獲得した「超熟」シリーズや、名古屋市を代表する銘菓「なごやん」があげられます。

刈谷工場では、参加者12名全員の体温測定をしてからの見学となりました。安全管理に関しては「HACCP」「TPM」と呼ばれる活動や100カ所以上にカメラを設置するなど、未然に事故を防ぐために徹底した取組みをしているそうです。管理は30年前より数十倍以上厳しくなり、国内で衛生に関する事件が起きる度に消費者からの目がシビアになると言っておりました。そのようなことから、商品名の一部やパッケージに「国産小麦」を謳い、消費者に安心を与えるという工夫が見られました。

見学の後、会議室へ移動して工場長や本社より駆けつけて下さったマーケティング部の部長などを交え、生産者の方々と意見交換会を行いました。印象に残っている話は、国産小麦は外国産より品質が優れているという理由から将来的に小麦をはじめ豆類などの原料は国産の使用割合を多くしていきたいというもので、今まで以上に安定した供給が必要であると言っておりました。その他にもさまざまな意見交換が出来ましたので、生産者・実需者それぞれにとって貴重な時間になったのではないかと思います。

今回の視察を通して、農作物全体において実需者や消費者に原料を提供するということは安全・安心が大前提であると強く感じました。その為には農薬の適正使用による生産履歴記帳運動や残留農薬検査への取組みなど地道な努力が基本であるという事を再認識させられました。

農産部 農産課

青年部・職員交流会

1月30日に青年部と職員との交流会がスズランボウルで開催されました。総勢25名が参加し、青年部と職員が混合となるグループでボウリング2ゲームを通して交流を深めました。

青年部長の挨拶と始球式で幕を開けたボウリング大会は序盤から剛速球やカーブボールが飛び出す好勝負が繰り広げ

られました。グループ内で投げ方のアドバイスをしたり、スコアの近い人と互いに競い合ったりと笑顔の絶えない賑やかな雰囲気で大会を終える事ができました。

その後場所を移した懇親会では、普段なかなか話す機会の無い青



年部と職員の親睦を図る良い機会となり、有意義なひと時を過ごす事ができました。

料理サークル 2月例会

2月12日に料理サークルの「2月例会」が百年記念ホールにて開催されました。今回の内容は『かざり寿司』と『春巻』作りでした。

かざり寿司は最後に切るまで上手く絵柄が出ないので、ドキドキしながら作っていましたが、綺麗に絵柄が出ると皆さん大喜びでした。沢山の種類を作ったかざり寿司は、入っている具材もそれぞれ異なり、色々な味を楽しむことが出来ました。「コツは分かったので、絵柄を変えた作品も作ってみたい」との声がありました。



地区別懇談会



本組合の地区別懇談会が2月13・15・16日の3日間、5会場で開かれ、述べ63名の組合員が出席（出席率33.1%）されました。

本年度事業においては「力強い農業と豊かな魅力ある農村の実現」及び「安心・安全な農畜産物の安定供給」を支える施策に、関係団体、指導機関と連携しながら役職員一丸となって取り組む事が基本に上げられ、平成27年度の収支見込み、各部の平成28年度事業計画が

それぞれ担当部長から説明されました。

また、質疑応答では鳥獣対策の内容や駆除方法について、規格外小麦をビート直播の風害対策用種子として供給できないか、小麦の利用料は下がらないのか等の意見、要望が出されました。

女性部友の会 定期総会

女性部友の会の定期総会が2月18日に開催され、新年度の事業計画を協議するとともに、役員改選が行われ、新役員（左写真）が選出されました。

また、新年度事業計画では女性部事業へ積極的に参加する方針が固められました。

